

2023 年度事業計画（案）

社会福祉法人八千代翼友福祉会

法人の理念

- ・障害のある人たちが、地域で普通の市民としての暮らしが出来るよう活動します。
 - ・かけがえのない存在としての利用者の尊厳を大切にし、そのねがいに寄り添い、事業を運営します。
 - ・地域の人たちとの交流・共同を大切にし、地域に役立つ活動を展開します。
- また、それらの活動を通して「共に生きる」理念・方法の創造、発信を行います

はじめに

国連の障害者権利委員会は昨年9月9日、日本政府への初審査の総括所見（勧告）を発表しました。

新聞等によれば、「勧告の中で『強く要請する』と力点を置いたのは（権利条約）第19条（自立した生活と地域社会への参加）と24条（教育）に関することだ。」とし、「19条では脱施設化を唱えた上で、『グループホームを含む特定の生活形態に住むことを義務付けられないように』と念を押し」、また教育をめぐるっては、障害児を分離した特別支援教育の中止を要請し、障害の有無にかかわらず共に学ぶ『インクルーシブ教育』に関する国の行動計画を採択するよう求めた」と報道しました（福祉新聞）。

勧告に法的拘束力はないとされていますが、今後障害者関係法制・行政が変わる可能性があります。

私たちも、この勧告から学ぶところは学び、権利保障のための実践を進めていかなければなりません。

昨年度（2022年度）、とうとう法人全体として、「新型コロナウイルス感染症」の大きな「洗礼」を受けてしまいました。

まだ流行収束の見通しは立っておりませんので、その対策をとりながらも、本年度は委縮せず、「量」も支援の質も充実させていきたいと思えます。

具体的には、ビータスの新築移転、ギャラリーの開設という新規事業及び法人全体の研究体制の確立・充実をめざします。

もちろん基本となる日常支援の質の向上（人権意識の向上・虐待防止対策含む）は不断に続けなければなりません。

また、活動・運営を支える安定的職員体制の確立はどうしても必要ですので、努力を重ねたいと思えます。

本年度は、役員改選が予定されています。新たな役員体制のもと更なる発展を期したいと思えます。

2023年度 生活介護「友愛みどり園」 事業計画

I 趣旨

2022年度は利用者の加齢等による状態の変化を見極めながら「個」に着目し、集団の中で活動意欲を高めるための取り組みを実践してきました。また、利用者の心身の状態により個別的な支援が必要な方には、個別対応支援を継続的に行ってきたところです。

2023年度は昨年同様の取り組みは継続し、利用者が側楽（はたらく）ことや輝ける経験を通して、内面の豊かさを育み、その人らしい生活が実現するように取り組みたいと思います。

数年続いてきた新型コロナウイルス感染症の制限も今年度から緩和されます。友愛みどり園としては、日々行っている感染症対策は継続しつつ、利用者の生活の安心・安全・安定を守る環境を保ち、行事等はコロナ禍以前のように再開していきたいと思います。

またスローガンとして「文化の発信地になろう！」と掲げているところですが、「ほんまもん」作りを強化し、販売活動や芸術活動をとおして地域に発信していきたいと思います。

基本理念

- ①人格・人権の尊重をすべての支援活動の基本とする。
- ②利用者自らの生活を自らの意思で選択・決定できるよう、可能な限り本人の意思を尊重し自己決定できるよう支援する。また、その中で各々の自己実現が図れるよう支援する。
- ③活動が施設の中で完結することなく、地域に開かれた施設、地域に必要な施設となることを目指す。

支援方法

- ①利用者は、複数の集団（ホーム・活動・全体）に属し、それぞれの集団の仲間と共に向上していくことが出来るよう支援する。
- ②一人ひとりの進んだ面・得意な面に目を向け伸ばすよう努め、遅れた面・不得意とする面に手を当て、フォローすることを支援の視点とする。
- ③一人ひとりの長期的及び短期的支援目標を設定し、取り組む。目標設定に際しては本人及び家族との協議を行い、家庭との一体的支援を図る。

II 事業計画

支援態勢

①定員 56名

②職員態勢 法的基準に拘らず、安全と適切な支援を保障できる職員態勢を確立する。

重点目標

1、支援内容の充実

① 【手ごたえを感じられる課題を掴む】

利用者が達成感・手応えを感じられるよう、一人ひとりの適切な課題を掴み支援する。

② 【「自主的活動を引き出す・見守る・育む支援」と「集中的に手を当てる支援」を!】

利用者の内面理解に努め、利用者の「自主的活動を引き出す・見守る・育む支援」と「集中的に手を当てる支援」などのメリハリのある支援を行う。

③ 【地域の一員としての活動を!】

様々な活動を「地域の一員としての活動」として発展させる。

2、家族支援の充実

将来の暮らし、社会資源の活用・創造など、家族・職員が一緒に検討すべき課題を家族（家族会）に提起、検討するとともに、暮らしに関連する情報提供を充実させる。

3、職員研修の充実

① 支援マニュアルを活用、改善する。

② 障害福祉施策の動向にもアンテナを張り、必要な情報を把握する。

③ ヒヤリハット（危機管理シート）を活用し、防災・事故防止の意識を高める。

4、権利擁護態勢の充実

① 言動も含め、利用者の権利侵害が生じないよう日々の点検活動を強化する。

② 個々の利用者の意思を尊重し、適切な対応を心がける。

③ 利用者が意思決定するための適切な支援方法を検討する。

5、他事業との連携

① 利用者の豊かな生活のため、他事業所のサポート体制を整備する。

② 相談支援事業所と連携を図り、利用者の生活全般を視野に入れた支援を行う。

2023 年度「きざし」事業計画

●基本理念

- ①人権・人格の尊重
- ②はたらく場の保障
- ③社会生活の場の提供
- ④社会貢献・地域貢献の実践

●基本方針

- ①「普通の生活」→同年齢の市民と同じ経験・生活の保障
「らしさ」→一人ひとりの心に寄り添った活動
- ②「大人として」→はたらく意味を知り、その喜びを感じることができる
「ちから」→はたらく事を通じ、伝える・見通す・思いやる等「ちから」を養う
- ③「お互い様」→集団として助け合い、認め合う事でお互いを尊重していく
「また明日」→安全・安心を保障し、楽しみにできる環境を作っていく
- ④「ありがとう」→お互いに必要とし、される関係を作っていく

●事業目的

- ・社会福祉法人八千代翼友福祉会の生活介護事業所「きざし」が行う障害者総合支援法の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関することを定め、事業所の従事者が、支給決定を受けた障害者に対し、適正な指定生活介護を提供すること。
- ・利用者の基本的人権・人格を尊重し、充実した日常生活及び社会生活を営むことができるように、創作的活動・生産的活動及びスポーツ・レクリエーションの機会を提供する。
- ・地域での自立した生活を送れるよう、健康で文化的な生活に必要な知識・技術・習慣の習得を支援する。

●事業内容

- ・個別支援計画の作成
利用者各々の心身の状況、希望及び環境を踏まえ、サービスの目標・具体的なサービス内容を記載した個別支援計画(ケアプラン)の作成
- ・基本的生活習慣の獲得
食事・排泄・更衣・整容等基本的生活習慣の習得に必要な支援を行う
- ・生産的活動(織物等室内作業及び畑作業)
作業能力にあわせた生産活動を保障し、はたらく意味・喜びを知る機会を提供する
- ・スポーツ・レクリエーション(ウォーキング・ジョギング等、季節の小行事)
スポーツ・レクリエーション及びそれに係る創作的活動を通じて、充実した日常生活の提供と他者との交流の場となるようにする。
- ・社会参加(地域活動への参加、地域の清掃活動)
地域参加及び地域貢献に向けて、社会資源の活用や地域活動への参加及び清掃活動等の積極的な活動を行う
- ・健康観察

日々の健康観察及び協力医療機関を通じて健康保持のための支援

・利用者又は家族に対する相談及び助言

利用者及びその家族の支援(介護)に関する相談及び助言を行う

●2023 年度事業計画

・活動の場や幅を広げ、地域の中での役割を担えるような環境を模索する

→現在は、「地域清掃」や「学校ボランティア」、「公園清掃(サンワックスさん)ボランティア」等の活動を通じて地域との接点を持つことができている。その中では、活動の目的のひとつでもある「誰かのために」を実感することができる場面が多く、皆さんのモチベーションにつながっていることは間違いが無いように感じる。それらを続けていく中で、結果として地域にとってのきざしの役割として位置づけられるようにしていきたい。また、週一回の玄関前での野菜販売がすっかり定着し、団地の方を中心に認知されているように感じている。その状況を活かし、利用者と地域の方との接点としての環境づくりを意識していく。

→ボランティア活動が地域との接点を持つうえで大きな役割を持っていることを実感してきた。今後それを、活動範囲を広げること(「量」)、地域との接点という意味をより深めていくこと(「質」)両面から見直し・検討を行い、一人ひとりが「活躍」できる環境を作っていきたい。

・「個」の発達に注視し、「集団」の中においてもその力が十分発揮されるよう、必要があれば環境を見直す

→これまで「個」及び「集団」という視点で活動を組み立て、相互が発展的に影響を及ぼすという場面を多く目にしてきた。しかし、改めて「集団」を顧みた時、集団へのそれぞれの参加の姿勢が、学校生活を中心とした「集団行動」が前提として存在するものではない、と言い切れない部分があるのではないだろうか？個が十分に活かされ、パターンリズムではない活動を実現できているのかを見直す。

→改めて「個」の力を見直し、各生活場面の中から「本心・本音」を探る。その際、発達の視点を重視することで支援の方向性についても見直す機会とする。

→支援にあたり、発達の系を大切にし、無理なく、段階的にアプローチすることでタテの発達とともに、ヨコの発達を見落とすことなく捉えていく。

→その上で、集団の中での「個の発揮」、「個が生きる」状況、その中でそれらが有機的に影響を与えられる環境づくりを試みる。

●日課

	月	火	水	木	金
～9:30	利用者送迎車到着・連絡帳提出・着替え				
10:00～11:00	ミーティング・体操・ウォーキング				
11:00～12:00	運動	創作	運動	地域清掃	買い物
12:00～13:30	昼食・歯磨き・昼休み				
13:30～14:40	畑	織物	畑	織物	余暇活動
14:40～15:30	着替え・ティータイム・ミーティング				
15:30～	利用者送迎車出発				

2023年度 事業計画

I 趣旨

現在のもやいは、6住居28名が暮らしています。皆さん毎日元気に日中活動へ出かけ、いい表情で住居に帰ってきてくれます。少しずつ先の見えてきたコロナ禍ですが、GHではこれまでと変わらない生活になりつつあります。しかしながら、住居を超えたイベントなどは自粛しており、全てがコロナ改善に戻るにはもうしばらく時間がかかるのかもしれない。今後も日々の暮らしの中で感染対策にも十分気を付けてまいります。

今年度のもやいは、今一度利用者それぞれが生活の主体となれるよう支援していきたいと考えています。そのためには、私たち支援者が利用者の想いを汲み取る力を磨かなければなりません。毎日の生活の中で利用者からの発信にアンテナを張ることはもちろん、利用者の要望・要求を引き出したり、一緒に作りだしたりすることが必要です。

仲間と暮らす GH の良さを認めつつ、利用者それぞれが感じる生活の豊かさを見つけていきたいと思えます。

利用者を中心に据え、ご家庭、関係事業所とも連携を取りながら住みよい GH となるよう努力してまいります。

支援で大切にしたいこと

- ① 安心してくつろげる場となるよう、一人ひとりの生活のペースを尊重した支援を行います。
- ② お互いに尊重し合う、支え合う、「家族的」絆を創り、大切にします。
- ③ 「地域の一員として暮らす」ことを具体化できるように支援します。

II 事業計画

支援における重点目標

- ① 安心して利用者が主体性を育み、充実した暮らしが築けるように支援する。
- ② 利用者がお互いに尊重し合う、支え合う、「家族的」絆を深められるように支援する。
- ③ 一人ひとりの進んだ面・得意な面に目を向け伸ばすように努め、遅れた面・不得意な面に手を当てフォローすることを支援の視点とします。

1. 年間行事

自治会行事への参加
誕生会等住居ごとのイベント

2. 健康管理

生活支援員・世話人が各人の健康管理に努め、生活習慣病予防、利用者の嗜好に合わせた食事等を提供します。

3. 防災

避難訓練を実施します。(年2回)

Ⅲ. 支援態勢

1. 定員 28名

2. 各住居 定員及び職員配置

管理者 1人(兼務)
サービス管理責任者 1人(兼務)

ケアホームもやい

定員 5人
生活支援員 4人(兼務あり)
世話人 3人(兼務あり)

ケアホーム第2もやい

定員 4人
生活支援員 3人(兼務あり)
世話人 1人(兼務あり)

ケアホームゆい

定員 5人
生活支援員 6人(兼務あり)
世話人 3人(兼務あり)

ケアホーム緯

定員 4人
生活支援員 6人（兼務あり）
世話人 1人

ケアホーム第2緯

定員 5人
生活支援員 3人（兼務あり）
世話人 2人

ケアホーム朋

定員 5人
生活支援員 3人（兼務あり）
世話人 1人

3. 運営方針

- ・安全対策を前提にし、利用者の自主性を尊重しながらも、利用者同士が協力・尊重し合い・安心してくつろげる生活の場を構築する事を目指す。
- ・より良いサービスが提供できるように、支援内容を確認し、研修等の充実を図り（外部研修への参加を含む）、サービスの質の向上を目指す。

1. 趣旨 八千代市で暮らす障害児・者に必要な福祉サービスの利用に関する情報提供を行います。また、サービス等利用計画書の作成とモニタリングを行い、本人や家族のニーズに合った生活を送ることができるよう、相談支援を適切に行っていきます。

2. 事業の内容
 - ・サービス等利用計画書を作成した利用者に関して、定期的なモニタリングを行っていきます。その中で、本人や家族の状況の変化等を把握し、関係事業所や行政と情報を共有して問題解決に努め、利用者の生活を支えていけるようにしていきます。
 - ・各ケースが抱える将来的な課題を明確にし、本人や家族、関係事業所、行政などと協力し、課題を解決できる体制を整えていきます。
 - ・相談者に対し、その人に合った福祉サービスや事業所の情報提供を適切に行うために、情報収集を行い、相談支援体制を整えます。
 - ・八千代市内の障害児・者、事業所などの状況を把握し、サービスが必要としている方が利用しやすいような環境作りを目指します。

3. 従業員の人数 管理者 1名（常勤1名）
相談支援専門員 3名（常勤1名、非常勤2名）

4. 研修計画 情報収集と自己研鑽の為、外部研修に参加します。

移動支援事業所「ふくろう」 2023 年度事業計画

○移動支援事業

1、趣旨

昨年度も移動支援従事者養成研修の開催により、新たなヘルパーが利用者との外出を開始しています。定期的な同研修開催により安定した事業運営を行う。

余暇ニーズを中心に、一人ひとりのニーズに柔軟な対応が出来るよう外出支援のサービス提供を行う。

2、事業の内容

- ・外出を通して社会に出る機会を設けることで、利用者本人の視野を広げられるように支援する。
- ・外出を設定することで、家族の休養時間の確保が出来るように支援する。

3、従業員の数

管理者（常勤ヘルパーと兼務）	1人
サービス提供責任者（常勤ヘルパーと兼務）	1人
常勤ヘルパー（職員）	3人
登録ヘルパー	4人

4、研修計画

資質向上・情報の共有を図る目的として、ヘルパーに研修を実施する（年度末の予定）。

○行動援護

- 1、趣旨
- 例年同様、昨年度も移動支援、行動援護間の支給変更により、事業所内での契約変更が数名いたことに加え、新規契約の利用者も増えています。
- 今年度も一人ひとりのニーズに柔軟な対応が出来るよう、本人を中心とした関係各所との連携を図り、計画書、手順書の作成と外出におけるサービス提供を行う。
- 2、事業の内容
- 当該利用者が行動する際に生じうる危険を回避するために必要な援護、外出時における移動の介護、排泄及び食事の介護、その他の当該利用者が行動する際に必要な援助を行います。
- 3、対象者
- 知的障害により行動上著しい困難を有する障害者などであって、常時介護を要するものであって、障害支援区分が区分3以上で、障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等（12項目）の合計点が10点以上である。
- 4、従業員の人数
- | | |
|----------------------|----|
| 管理者（常勤ヘルパーと兼務） | 1人 |
| サービス提供責任者（常勤ヘルパーと兼務） | 1人 |
| 常勤ヘルパー（職員） | 3人 |
| 登録ヘルパー | 4人 |
- 5、研修計画
- 他事業所等の情報収集や自己研鑽の為、内部研修を実施（2回/年）

移動支援従業者養成研修事業 2023 年度事業計画

- 1、趣旨 知的障害者を有する者又は児童に対する外出時における移動の支援等に必要な知識、技術を有する移動支援従業者を養成する。
- 2、事業の内容 ①主催：社会福祉法人八千代翼友福祉会
②開催時期：夏季ころ
③研修内容：2日間の講義と1日の実習
- 3、カリキュラム 1日目：講義
・ 障害者（児）福祉の制度とサービス
・ 障害・疾病の理解
2日目：講義
・ ガイドヘルパーの制度と業務
・ 障害者（児）の心理
・ ガイドヘルパーの職業倫理
・ 移動支援の基礎知識
- 4、対象者 八千代市、隣市在住の大学生、一般の方
- 5、後援依頼先 八千代市

放課後等デイサービス あごら 2023年度 事業計画

1、趣旨

コロナ禍3年目となる2022年度でしたが、感染予防を徹底しながら利用者が遊びを通して、沢山の経験ができるよう支援にあたりました。学童期は子ども同士の交流の中で社会性を身につける時期になります。家庭から学校へ、初めての集団生活を経験する時期となります。学校で今まで経験したことのない時間を過ごした子どもたちが「あごらに行きたい!」と思えるように、遊びを通じて交流、社会性、自己決定などに取り組みました。

2023年度に向けてですが、昨今放課後等デイサービスのあり方が問題視されています。放課後等デイサービスが2012年に創設されて以降、利用児童数、事業所数は急激に増加しました。しかし、「支援の質」の問題を中心に様々な問題が指摘されています。このことを受け、2024年には新しい枠組みが出来上がる予定です。

「事業所の増加」「少子化」に加えて今後、報酬改定が控えています。事業所の運営も厳しくなることが予想されます。

子どもたちの成長の一翼を担う立場として、支援の質を保ち、子どもたちの最善の利益を確保するためにも、安定した事業運営のための方法を模索していかなければならないと考えています。

2、基本方針

『楽しいから始まる交流と成長』

3、事業目的

- ・社会福祉法人 八千代翼友福祉会が設置するあごらにおいて設置する障害児通所支援の放課後等デイサービスの適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定放課後等デイサービスの円滑な運営を図るとともに、障害児及び障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、障害児及び障害児の保護者の立場に立った適切な指定放課後等デイサービスを提供する。
- ・生活能力向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、利用者の心身の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
- ・指定放課後等デイサービスの実施にあたっては、地域及び家庭との結びつきを重視した運営を行う。

4、事業内容

- ・個別支援計画の作成
利用者各々の心身の状況、希望及び環境を踏まえ、サービスの目標・具体的なサービス内容を記載した個別支援計画の作成。
- ・基本的生活習慣
食事、排泄、更衣等基本的生活習慣の習得に必要な支援を行う。
- ・スポーツ、レクリエーション活動
戸外遊び、散歩、リズム等を通して体力の向上を図るとともに心身の安定を図る。
また、充実した日常生活の提供と他者との交流の場となるよう支援していく。
- ・創作活動
絵画、工作を通じて手指機能の向上を図るとともに、情緒の安定を図る。
- ・利用者又は家族に対する相談及び助言
利用者及びその家族に支援に関する相談及び助言を行う。
- ・健康指導
健康観察、健康チェック、学校との引継ぎを行い健康保持のための支援を行う。
- ・送迎サービス
利用者が通学している学校から事業所までの送迎。
事業所から利用者の自宅まで送迎。

5、2023年度の重点目標

色々な体験をしてみよう!!

- ・庭や公園での外遊び
- ・制作での手指の向上、季節行事への馴染み
- ・長期休暇中の行事

できることを増やしていこう!!

- ・日常生活に必要な動作
- ・自己選択、自己決定

交流を大切にしていこう!!

- ・遊びの中でのコミュニケーションの取り方。
- ・普段関わりの少ない人たちとの交流。

6、2023年度の活動予定

①年間行事予定

月	主な行事
4月	新入生歓迎会 お花見 調理 外食 アンデルセン公園
5月	避難訓練
6月	
7月	プール 調理 バスハイク BBQ 流しそうめん
8月	プール カラオケ キッズダム アンデルセン公園

9月	避難訓練
10月	ハロウィンパーティー いもほり
11月	あごらフェスタ
12月	クリスマスパーティー カラオケ 食事会
1月	もちつき 初詣 お年玉を使おう
2月	避難訓練
3月	成田ゆめ牧場 カラオケ お別れ会 市川動植物園

②週間活動予定

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	時間
15:00～	来所・手洗い・うがい・検温					来所	9:00～
	始めの会					始めの会	10:00～
	おやつ					体験活動 (昼食)	10:10～
15:40～	庭遊び・制作・外出・室内遊び等を 各学校の下校時間を考慮し週ごとに設定していく						
16:30～	みんなで活動(リズム,読み聞かせ,マット運動など)					自由遊び	15:00～
16:40～	帰りの支度					帰りの支度	15:40～
16:50～	帰りの会・乗車					帰りの会	15:50～

7、職員・非常勤研修等

- ・事業所内研修 あごら、ピータス合同研修（1回/月 8月、3月除く）
職員会議（1回/月 8月、3月除く）
- ・法人内研修 階級別研修等
- ・外部研修 県研修（虐待防止、行動障害など） 救命救急法 施設見学
大学等公開講座
- ・その他 個人研修など

放課後等デイサービス ビータス 2023 年度 事業計画

1、趣旨

2022 年度もコロナ禍でのスタートとなりました。4 月当初は閉所となり、利用者、ご家族にはご迷惑をおかけしました。ビータスの活動については子どもたちの成長、発達を踏まえて極力、普段通りの活動が出来るように感染対策を徹底しながら取り組みました。今年度よりビータスを利用することになった 7 名の利用者も早々に慣れ、お兄さん、お姉さんの利用者とも活動をともにすることができました。

2023 年度について、14 年間過ごした島田から新しい土地（島田台）で事業を開始することとなります。過ごし慣れた場所から引っ越しをする寂しさはありますが、新しい出会いの中で利用者自身が新しい発見ができるような場所にしていきたいと思えます。

活動では引き続き散策、運動を取り入れながら身体の成長の向上を図っていきたく思います。また、コロナ禍も明けて今まで難しかった「地域」を意識した取り組みも行っていきたいと思えます。昨年度より地域ボランティアと位置づけた缶活動、そして地域清掃や植栽活動を通して、地域の人から「ありがとう」をもらえるように取り組んでいきたいと思えます。そして、この 3 年間控えていた外食や地域の催事に積極的に参加していきたくと思えます。

利用者が生まれ育った場所で暮らしていけるための礎を築くためにも、地域で共に暮らす市民の方と接する機会を多く持っていきたいと思えます。

2、基本方針

こんなビータスを

『楽しさと安心の中で、自分を表現できる場としてのビータス』

3、事業目的

- ・ 社会福祉法人八千代翼友福祉会が設置するビータスにおいて実施する障害児通所支援の放課後等デイサービスの適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定放課後等デイサービスの円滑な運営を図るとともに、障がい児及び障がい児の保護者の意思及び人格を尊重し、障がい児及び障がい児の保護者の立場に立った適切な指定放課後等デイサービスの提供を確保することを目的とする。
- ・ 利用者が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。
- ・ 指定放課後等デイサービスの実施にあたっては、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行う。

4、事業内容

- ・個別支援計画の作成
利用者各々の心身の状況、希望及び環境を踏まえ、サービスの目標・具体的なサービス内容を記載した個別支援計画の作成。
- ・基本的生活習慣
食事（おやつ等）、排泄、更衣などの生活習慣の習得に必要な支援。
- ・創作的活動
制作や課題活動を通して充実感や達成感を育てる。趣味や余暇の過ごし方を提供。
- ・社会参加
社会資源の活用や地域への貢献活動を中心に地域行事の参加や町内の清掃など。
- ・体力や情緒の安定、健康維持
散策、リズム等の活動を通して成長に合わせた体力づくりと情緒の安定。
日々の衛生指導や健康観察など、健康維持のための支援。
- ・利用者又は家族に対する相談及び助言
利用者及びその家族の支援に関する相談及び助言を行う。
- ・送迎サービス
利用者が通学している学校から事業所までの送迎。
事業所から利用者の自宅までの送迎。

5、2023年度の重点目標

- 体と心の安定のための支援
 - ・自我の尊重
 - ・進んで取り組む姿
 - ・成長に合った動き
- 自分らしさを表現できる場
 - ・利用者が穏やかに過ごせる環境
 - ・安心して表現し、受け止められてもらえる仲間とスタッフ
- 集団の良さを個の成長に
 - ・集団ならではのメリットを生かした活動
 - ・個々の成長につなげていくためのピータス集団
- 社会経験を通して・・・そして挑戦へ
 - ・経験の積み重ねが自信に
 - ・「進んで実行」の機会を

6、2023年度の活動予定

① 年間行事予定

月	主な行事活動			
4月	お花見	歓迎会	避難訓練	桜祭り

5月	歩き遠足　BBQ　農業交流センター祭「ヤルシェ」
6月	なのはな運動会応援　地域清掃　県民の日遠足
7・8月	夏休み行事（プール、バスハイク、ボーリング、カラオケ、外食、調理など）
9月	避難訓練　調理
10月	地域清掃　ハロウィンパーティー
11月	あごら・ビータス合同フェスタ　避難訓練　あすなる祭
12月	地域清掃　冬休み行事（クリスマス、餅つき、カラオケ、ボーリング、外
1月	出、調理など）
2月	避難訓練　ビッグコンサート
3月	地域清掃　春休み行事（お別れ会、カラオケ、外出、外食、調理）

誕生会は毎月末実施

② 週間活動計画

放課後等デイサービス							
時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	時刻
15:00	きがえ					ミーティング	9:40
～15:40	ミーティング					体験活動	10:00
	手洗い・おやつ						
	活動準備						
15:40	散策	運動	運動	缶作業	散策	昼食 体験活動	12:00
～16:40		制作	制作				13:00
16:40～	帰りの支度					帰りの支度	15:40
16:50～	ミーティング・乗車					ミーティング・乗車	15:50
17:00～	ビータス出発					ビータス出発	16:00

※ 職員・スタッフの研修の場として

- ・事業所内研修　あごら・ビータス合同研修（1回/月　8月・3月除く）
職員会議（1回/月　8月・3月除く）
- ・法人内研修　層別研修等
- ・外部研修　県研修（虐待防止、行動障害など）　救命救急法　施設見学
大学等公開講座　など
- ・その他　個人研修など

